

生活支援コーディネーターの

『いいものみ〜つけ！』

No.14

地域で見守りの芽 が始まっています。


『みんなで地域を守るために ～浦宿二区～』

6月22日浦宿二区集会所内において地区内で見守り活動を進めるにあたっての話し合いが行われました。

当日は、遠藤区長さんをはじめ、民生児童委員や保健推進員、老人クラブ会長など14名の方々と社協や包括支援センター職員が参加し、対象となる高齢者の把握や地区内の状況、留意事項などについて確認を行いました。

今回、この「話し合いの場」を持つにあたって、事前に区長さんと社協職員が打合せを行い、当日を迎えました。

改めて、地区のなかでこのような「場」を幾度も重ねることによって、区民の方々が自分たちの住む地域と向き合う機会となっていくということは、ステキなことだと感じました。

小さな芽がやがて大きな森となりますように 



『上一区』

以前から、上一区では地域の有志の方々が、毎日朝に児童の通学時に合わせて見守り・声かけ活動を行って来ました。

今回、高齢者世帯の見守り活動を行うにあたり、民生委員さんから「話し合いの場を作ってはどうか」との提案を受けた村上区長さんは、早速、民生委員や福祉活動推進員を集め、話し合いの場を設けるまでに至りました。話し合いでは、地域の気になることや今後の取り組み方について、皆さんが集まり意見交換や情報共有が行われました。

『地域で安心して暮らす』という先には、そこに住む地域の方々の力は欠かせないものだと改めて思います。



地域の皆さんの想いが、少しずつ動き始まっています。



西区にペタンク場が完成！

かねてより、卓球やペタンクなどに取組まれていた西区でしたが、その活動はもっぱら室内のみとなっていました。というもペタンクコートがないという理由。住民の皆さんから要望を受けた高橋区長さんのご尽力で、6月初めに待望のペタンク場が完成しました。

今後は天候や気温の状況を見ながら、室外での活動を徐々に増やしていくとのことでした。